

みんなの環境

第31号 2012年1月31日

編集/発行 あつぎ環境市民の会

http://www.geocities.jp/atsugi_kankyo/

年頭のご挨拶

夢と希望と感謝を 充電の年に

代表 狩野光子

新年のお慶びを申し上げます。昨年は色々な意味で、ほんとうに大変な年でした。

昨年の3月11日、メディアから流れる情報に釘づけになりました。特に原発事故は、様々な情報が明るみにでるにつれ、環境問題に取り組んできた私たちにとって、最も大切な活動目的である“子供たちの命を支えている環境”を身近な日常生活の中で考える必要を感じました。しかし環境問題はあまりにも多岐にわたるので、今までは“できる事から”という気持ちの活動で精一杯でした。そこで1月の定例会では、今年「みんなの環境展2012」はお休みして、充電期間とすることに決めました。次回の環境展は展示内容を深め、余裕を持って臨みたいと思います。



当会は発足当初からNO₂（二酸化窒素）の測定を行って参りました。大気と水がどのように変化しているのか？私たちの生活とどのような係わりがあるのか？大気と水は全ての命を育てておりますので、環境を守る上で基本であるのではないかと痛感するこの頃です。

昨年は、神奈川工科大学・斉藤貴教授の指導をうけ、同大学「Stop the CO₂ 入門」の受講者有志の学生さんたちと協働で市内のNO₂モニタリング調査を行うことが出来ました。今年度はさらに多くの方々に参加していただき、大気と水の監視が出来るような市民団体になれば理想だと思います。

また、タイムリーに3・11の前日、3月10日(土)に原発・自然エネルギー問題のドキュメンタリー映画「ミツバチの羽音と地球の回転」の上映会を、監督、鎌仲ひとみ氏をお招きし厚木市文化会館小ホールで開催します。これから私たちは、どのようなエネルギーを選択していくのか？この映画は、今の私たちに応えてくれそうな必見の映画です。是非多くの方々に観て頂きたいと準備を進めております。会員はもちろん、多くの方々をお誘いの上お出かけくださいますよう、心よりお待ちしております。

小さなことにも、希望と夢を見出し、感謝を忘れず頑張りたいと思います。どうぞ今年もご支援、ご協力よろしく願い申し上げます。

会員募集中。

あつぎ環境市民の会では、4月からの会員を募っています。年会費：A会員 2000円。B会員 1000円。お近くの会員または、Tel 046-224-5010（狩野）までお問い合わせください。

これからの NO₂（二酸化窒素）測定

松下泰行*

昨年12月1～2日の24時間、厚木市内34地点で、NO₂測定のため捕集管を設置・回収を行った。会の発足時から続けているが、昨年6月からは神奈川工科大学応用化学科の斎藤研究室と連携し、今回は二回目である。結果は交通量の関係により濃度は高くなる傾向であった。

今回の測定と研究室の教授との相談により、今年から測定ポイントを変更する。今回までは範囲約500m間隔で十字に20地点、残りは測定者が調査したい場所で測定したが、次回から厚木市内ができる限り入るように調整したポイントで測定する予定で測定地点を検討中である。

また、昨年より捕集管が変更し大きくなったため、悪戯されたり紛失されたりする問題点が生じてしまった。今までは小さかったのでもわがやりにくく悪戯されにくかったが、容積が従来品の約4倍でアルミ製の袋（風・日除け）と一緒に吊るすため目立ちやすくなったのが原因である。この点の対策は考えなくてはならないが、まずは地域の人にこの測定をもっと知ってほしいことであると、私は思う。そうすれば、問題の解決法に少しでもなるだろうし、もしかしたら協力的になるかもしれない。

個人的になるが私は昨年より会に参加し、NO₂測定は学んだことを生かしていると思うし、新しい捕集管になるが会発足時から行ってきたので、続けて変化をみてみたいと思っている。

(*まつした やすゆき あつぎ環境市民の会 厚木市在住)

ひまわりソーラークッカー研究会

昨年の成果と今年の活動計画

ひまわりソーラークッカー研究会では既に10年余に亘って、太陽自動追尾機能を持たせた



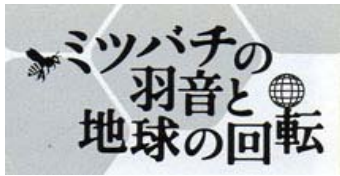
今年はコスト低減装置の実現に努力

ソーラークッカーの研究を有志のメンバーが集って行ってきました。昨年も、あつぎ環境市民の会の皆さん他多くの方のご支援のお陰で、一定の研究成果を上げることが出来、最初の試作機であるA-1型機の改良機として、A-2型機を組み上げることができました。まだ完全なものとは言えませんが、スムーズな追尾動作と天候に強い電装部を組み込みました。この試作機は昨年6月の「みんなの環境展」2011に始めて出展させていただきました。そして多くの来客の方に、自動追尾機能を持ったソーラークッカーは便利そうだとの印象

を持っていただけたのではないかと考えております。毎年「みんなの環境展」を見て下さっている方からは、新しい試作機では何処がどのように改良されたのかと、厳しい質問も受けました。さらに10月の「あつぎ環境フェア」にも、あつぎ環境市民の会の出展ブースに出展させていただき、天候の関係で実演は叶いませんでしたが、ここでも多くの観客の方に太陽自動追尾クッカーの価値を説明することが出来ました。

今までの多くのお客さまの声から、さらに安い価格の装置にする必要を感じています。前年からこの課題に取り組み始めており、今年はこの課題を実現すべく、新しい集光ミラーと従来機と異なる太陽自動追尾機構による試作機を完成させたいと、メンバー同意気込んでおります。さらにはA-2型機を用いて、太陽自動追尾機としての基本性能確認として追尾精度の測定を行うべく計画しております。

(不破穰一)



各地で好評上映 お見逃しなく！

晴れ屋(自然派雑貨&オーガニックカフェ)さん=厚木市中町=を訪れた、お母様とご一緒の20代女性のお話

やっと厚木に来たあ！と即、チケットを買いました。

友人にも連絡しました。茅ヶ崎で鑑賞しましたが、1人でも多くの方々に観てもらいたい、心ゆさぶる映画です。できる事から、1歩1歩、私も頑張ります。この映画を観てから、原発問題がより身近に、より真剣に考えられるようになりました。今までは、お恥ずかしい話ですがTVなどで原発の話を見聞きしても何が問題なのか？どしたらよいのかなど分かりませんでした。

この映画によって、自分の事のように原発について取り組まなければいけない気持ちにさせられました。約30年間も原発反対運動をされてきた方々の姿を見て、自分は何もしてこなかったというはずかしさや、申し訳なさ、そして心から感謝する気持ちで一杯になり、映画終了後もしばらく涙が止まりませんでした。是非、これからの社会の中心となっていく、若い方々の原発に対する意識が変化していく事を願っています。今回の厚木での上映会には、まだ観ていない父を連れて行く事にしています。



最近の新聞から=第11回沼田賞を受賞(抜粋)

①朝日新聞 2011年12月2日

反原発・上関の市民団体に栄誉 山口、自然保護に評価

山口県上関町の市民団体「長島の自然を守る会」が日本自然保護協会の第11回沼田眞賞を受賞することが決まった。中国電力の上関原発予定地周辺の自然の豊かさを、研究者や学会と連携して訴えてきたことが評価された。

守る会は1999年創設。日本生態学会などと連携して希少な貝類を見つけたほか、国天然記念物の海鳥カンムリウミスズメが周辺海域に1年を通して生息していることも確認した。自然観察会や講演会もたびたび開き、「奇跡の海」「生物多様性のホットスポット」と訴えてきた。

高島代表は「上関の自然のすばらしさが全国の人々から評価された。反対運動に関わってきたすべての方に対して与えられた賞だ」と喜ぶ。2月下旬に再開された埋め立て工事は、福島原発事故で一時中断している。「多大な犠牲の裏で与えられた時間を、原発に頼らない町づくりを生かし、建設中止を勝ち取るのが私たちの使命」と話した。【渡辺純子】

②毎日新聞 2012年1月23日 東京朝刊

沼田眞賞「長島の自然を守る会」に。中国電上関原発に反対、生態系保護訴え

日本自然保護協会は自然保護に優れた実績をあげた人や団体に贈る「沼田眞賞」に、中国電力上関原発(山口県)建設計画に反対し、瀬戸内に残る貴重な生態系の保護を訴えてきた市民団体「長島の自然を守る会」を選び、22日東京都内で授賞式が行われた。

高島代表は「受賞は、『奇跡の海』と呼ばれる上関の自然のすばらしさが評価されたということだ。次の世代に引き継ぐために、科学的な調査を続けたい」と喜んでいる。【足立句子】

たたみ屋 植田さんのこと

長嶺倫子*

昨年の春、当会の山上義明さんからの情報で、藤野の里山長屋プロジェクトの見学に参加した。<http://blog.canpan.info/nagaya> そこで畳屋の植田さんを知った。

9月に、我が家に新しい家族が増える予定があったので、畳の張替を無農薬、減農薬の国産いぐさにこだわった畳にしたいと調べると、植田さんは我が家のある同じ横浜であった。縁を感じお願いした。

納品の際、植田さんは「測っておきました」とこともなげに言った。「測る」とは放射線量のことである。話を聞くと、すでに測定器を3台購入し、自主的にいぐさを測っているということであった。そして「もうすぐ建材（コンクリート）も問題が出てきますよ」とその時おっしゃっていたが、いままさに問題となっている事象である。

お客さんの健康を考え、何もいわずに測ってくださったその行為に私は心から感謝するとともに、主体的に放射線量を測り、自身が出荷する畳に対して責任を持ち、その先の危機管理にアンテナをはるプロ意識に私は感銘を受けた。目立つ事がなくても静かにお客さんの健康を守るといふ、そのプロ意識の根底には、人が安心して幸せに暮せるようにはどうしたらよいか、常に問い続けている植田さんの人としての「優しさ」が感じられた。

安心して幸せに暮せる生活はどうしたら実現できるのか。答えはひとつではないと思うが、「国」や「行政」といった主体が見えないものへの依存ではなく、問題意識をもち、一市民としてできることをきちんとやる、そういった主体的な生き方をするひとりひとりの個人が集まることで、はじめて形を成していくのではないかと思う。

(*ながみね のりこ あつぎ環境市民の会 横浜市在住)

生物季節を記録し、みんなで報告を

佐渡では野外に放されたトキが猛禽類に襲われたと言うことで、この冬何羽かが傷ついて再びケージに収容されました。原因は、渡り鳥が少なく猛禽(ワシ・タカ)類が餌に困っているからとのこと。今年は我が家周辺でもまだツグミを見ていません。(2012.1.29)

自然の状況は同じようできて年々変わっています。ある年だけの特殊なことなのか、長い年月の間に徐々に変わっていることなのか知ることは私達の将来を知る上で意味があることだと思います。

厚木市では、一昨年から生物多様性地域戦略策定のための委員会を立ち上げ検討を進めています。その中で、市民がもっと身のまわりの自然に関心を持ってもらうようにするにはどうすればいいかということも話し合われています。

この欄で提唱している生物季節を記録してみんなで報告し合うことはとても良いことだと思うのですが、如何でしょうか。

(青砥航次)

みんなの環境 第31号 2012年1月31日発行

編集・発行 あつぎ環境市民の会 代表 狩野光子 / 制作 長岡恂
電話/FAX 046-224-5010 e-mail: mitsuko-karino@ayu.ne.jp
事務局 〒243-0817 厚木市王子 2-14-3 山中延明 方
電話/FAX 046-224-9693 e-mail: ANA40480@nifty.com
郵便振替口座 00200-7-132779 (年会費 A 会員:2000円 B 会員:1000円)

(C)あつぎ環境市民の会 2012